事務事業名		へい獣埋却場事業		☐ 実施計画登載事業		☐ 総合戦略登載事業																									
政策体系	政策名	06 自然豊かな環境の保全と創造		事業期間		予算科目																									
	施策名	28 廃棄物処置対策の推進		☐ 単年度のみ		会計	款																								
	基本事業名	01 ごみの減量化とリサイクルの推進		☒ 単年度繰返 (開始 昭和43 年度～)		01	04																								
根拠法令		化製場等に関する法律		☐ 期間限定複数年度 【計画期間】		01	03																								
所属	部課名	生活福祉部市民環境課		年度 ~ 年度		事務事業区分																									
	課長名	安田 由紀男		↓ ※全体計画欄の総投入量を記入		A 政策事業 B 施設整備																									
	係名	環境衛生係	電話	27-3111	C 施設管理 D 補助金等		E 一般(A~D以外)																								
	担当者	田中 瑛大	内線	125																											
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)																											
死亡獣畜の埋却処理を適正に行うために設置。 近年は死亡獣畜の処理が主に市外の施設で行われているため、災害などにより死亡獣畜が大量に発生する場合に備え、施設の維持・管理を行っている。 事業費は、草刈り業務の委託料、処分場用地の借上げ料に支出される。				<table border="1"> <tr> <td rowspan="7">総投入量 (千円)</td> <td rowspan="2">事業内訳</td> <td>国庫支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業費計(A)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>正規職員従事人数</td> <td></td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td></td> </tr> <tr> <td>人件費計(B)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>トータルコスト(A)+(B)</td> <td>0</td> </tr> </table>				総投入量 (千円)	事業内訳	国庫支出金		都道府県支出金		地方債		その他		一般財源		事業費計(A)	0	人件費		正規職員従事人数		延べ業務時間		人件費計(B)	0	トータルコスト(A)+(B)	0
総投入量 (千円)	事業内訳	国庫支出金																													
		都道府県支出金																													
	地方債																														
	その他																														
	一般財源																														
	事業費計(A)	0																													
	人件費																														
正規職員従事人数																															
延べ業務時間																															
人件費計(B)	0																														
トータルコスト(A)+(B)	0																														

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標									
① 手段(主な活動)	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
前年度実績(前年度に行った主な活動) 市で設置しているへい獣埋却場の施設管理	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 施設の点検回数</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>イ 草刈り回数</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	ア 施設の点検回数	回	イ 草刈り回数	回	ウ	
名称	単位								
ア 施設の点検回数	回								
イ 草刈り回数	回								
ウ									
今年度計画(今年度に計画している主な活動) 前年度と同じ									
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 へい獣埋却施設利用者	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)								
	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>カ へい獣埋却施設数</td> <td>施設</td> </tr> <tr> <td>キ 施設利用件数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	カ へい獣埋却施設数	施設	キ 施設利用件数	件	ク	
名称	単位								
カ へい獣埋却施設数	施設								
キ 施設利用件数	件								
ク									
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 施設が適切に管理される	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)								
	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>サ 不具合等発生件数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>シ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	サ 不具合等発生件数	件	シ		ス	
名称	単位								
サ 不具合等発生件数	件								
シ									
ス									
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) 発生したごみ(死亡獣畜)を適正に処理する									

(2) 総事業費・指標等の推移																																																																																																																																																														
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>年度</th> <th>27年度(実績)</th> <th>28年度(実績)</th> <th>29年度(実績)</th> <th>30年度(目標)</th> <th>31年度(目標)</th> <th>32年度(目標)</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>単位</th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">投入量</td> <td rowspan="5">事業費</td> <td>国庫支出金</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td>千円</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>千円</td> <td>83</td> <td>83</td> <td>85</td> <td>85</td> <td>85</td> </tr> <tr> <td>事業費計(A)</td> <td>千円</td> <td>91</td> <td>91</td> <td>92</td> <td>92</td> <td>92</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">人件費</td> <td>正規職員従事人数</td> <td>人</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td>時間</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>人件費計(B)</td> <td>千円</td> <td>40</td> <td>40</td> <td>40</td> <td>40</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>トータルコスト(A)+(B)</td> <td>千円</td> <td>131</td> <td>131</td> <td>132</td> <td>132</td> <td>132</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">⑤活動指標</td> <td>ア</td> <td>回</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td>回</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">⑥対象指標</td> <td>カ</td> <td>施設</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>キ</td> <td>件</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">⑦成果指標</td> <td>サ</td> <td>件</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>シ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				年度	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(目標)	31年度(目標)	32年度(目標)			単位							投入量	事業費	国庫支出金	千円						都道府県支出金	千円	8	8	7	7	7	地方債	千円						その他	千円						一般財源	千円	83	83	85	85	85	事業費計(A)	千円	91	91	92	92	92	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	延べ業務時間	時間	10	10	10	10	10	人件費計(B)	千円	40	40	40	40	40	トータルコスト(A)+(B)	千円	131	131	132	132	132	⑤活動指標	ア	回	1	1	1	1	1	イ	回	1	1	1	1	1	ウ							⑥対象指標	カ	施設	1	1	1	1	1	キ	件	0	0	0	0	0	ク							⑦成果指標	サ	件	0	0	0	0	0	シ							ス						
		年度	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(目標)	31年度(目標)	32年度(目標)																																																																																																																																																						
		単位																																																																																																																																																												
投入量	事業費	国庫支出金	千円																																																																																																																																																											
		都道府県支出金	千円	8	8	7	7	7																																																																																																																																																						
		地方債	千円																																																																																																																																																											
		その他	千円																																																																																																																																																											
		一般財源	千円	83	83	85	85	85																																																																																																																																																						
	事業費計(A)	千円	91	91	92	92	92																																																																																																																																																							
人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1																																																																																																																																																							
	延べ業務時間	時間	10	10	10	10	10																																																																																																																																																							
	人件費計(B)	千円	40	40	40	40	40																																																																																																																																																							
	トータルコスト(A)+(B)	千円	131	131	132	132	132																																																																																																																																																							
⑤活動指標	ア	回	1	1	1	1	1																																																																																																																																																							
	イ	回	1	1	1	1	1																																																																																																																																																							
	ウ																																																																																																																																																													
⑥対象指標	カ	施設	1	1	1	1	1																																																																																																																																																							
	キ	件	0	0	0	0	0																																																																																																																																																							
	ク																																																																																																																																																													
⑦成果指標	サ	件	0	0	0	0	0																																																																																																																																																							
	シ																																																																																																																																																													
	ス																																																																																																																																																													

事務事業ID	0077	事務事業名	へい獣埋却場事業
--------	------	-------	----------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	昭和43年、大船渡市内の死亡獣畜を適正に処理するため、大船渡市へい獣埋却場設置管理に関する条例に基づき設置された。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	死亡獣畜の処理を適正に行うために施設を設置し、死亡獣畜の受け入れを行っていたが、近年は市外の施設で処理されるようになったことで利用がなく、施設の維持管理のみを行っている現状である。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	特に寄せられていない。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 結びついている ⇒【理由】 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ へい獣埋却場の適切な管理により、死亡獣畜が公衆衛生上支障なく処理されることから、ごみの適正処理に結び付く。
	② 公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 妥当である ⇒【理由】 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 近年は死亡獣畜は主に市外の施設で処理されているため、本施設は利用がない状況であるが、災害などにより大量に死亡獣畜が発生した場合、当市では本施設以外に処理する施設が無いため、本施設の維持は必要である。
	③ 対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 適切である ⇒【理由】 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 大船渡市へい獣埋却場設置管理に関する条例に基づいており適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 適切な維持管理により不具合は発生しておらず、成果の向上余地はない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 ⇒【理由】 ☒ 影響有 ⇒【その内容】 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 近年は死亡獣畜は主に市外の施設で処理されているため、本施設は利用がない状況であるが、災害などにより大量に死亡獣畜が発生した場合に備え、市内において死亡獣畜処理の可能な施設が必要である。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 現在の事業費は、施設を最低限管理するための費用であり、削減された場合、適切な管理が不可能となる。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 現在も最低限の事務執行のみ行っており、削減の余地がない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 利用にあたっては、使用料を徴する。また、死亡獣畜が適正に処理されることにより、市内全域の公衆衛生が保持されるため、市民に対して公平である。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果																				
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) → ③ 終了・廃止・休止	左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																				
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	向上				維持		●	×	低下		×	×
	コスト																				
	削減	維持	増加																		
向上																					
維持		●	×																		
低下		×	×																		

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	現状どおり継続して事業を実施する。